

会

派

の

意

見



文責は各会派にあります

平成市民クラブ

今議会では、阪急長岡天神駅周辺整備について質し、駅周辺の重点整備地区を日常生活、商業、飲食・観光、交流、都市機能集積ゾーンに分け意見交換し、官民連携で進めるとの答弁を得ました。公園整備では、遊具等の公園施設長寿命化対策や西山公園、西代里山公園の整備を含め、市民がより安心して利用できるよう要望しました。小中学校の児童生徒へ一人一台タブレット端末を配備する予算案に対する質疑では、年度内

での整備を確認しました。今後、学習コンピュータや通信ネットワークの情報手段を整え、適切に活用し、教員の指導力向上を期待します。

また、本市第4次総合計画第2期基本計画の審査では、脱炭素の分野を独立させ地球温暖化防止と持続可能なまちづくりを強化したことを評価しました。

新しい生活様式の実践のため三密を避ける行動等、感染防止対策を徹底せねばなりません。私たちは、市民生活が安全安心で、暮らしがより豊かになるよう取り組みます。

三木常照・中小路貴司

平成西山クラブ

令和元年度の決算規模は、歳入総額が約314億円、歳出総額が約305億円で、差し引き約9億2千万円の黒字となりました。財政調整基金を取り崩すことなく収支の均衡を図り、財政健全化法による4指標についても引き続き良好な結果であり、本市の財政の健全性が一定維持できていることを高く評価します。

次年度からは、次期基本計画に基づくまちづくりが進められます。本市では、これまで微増を続けてきた

公明党

『安心なまちづくりの構築と教育環境の充実を目指します』

9月定例議会において、令和元年度一般会計歳入歳出決算と特別会計・上下水道事業会計の議案を認定し、令和2年度一般会計補正予算（第5号）についても可決致しました。

令和元年度一般会計の決算では、中学校給食の全校実施、各校のトイレ改修やエレベーター設置、公立保育所での幼児給食の主食提供と使用済み紙おむつの処分の開始、待機児

人口もいよいよ減少となり、新たな局面に入りつつあります。また、新型コロナウイルス感染症についても当面厳しい状態が継続すると想定されます。多くの市民が不安を募らせている中、知恵と工夫を結集し、スピード感をもって業務の執行に取り組まれることを期待します。また、想定外の災害や、複雑・多様化した行政課題に対しては、中小路市長就任以来貫かれている「対話」を重視し、8万市民が安心・安全に暮らせるまちとなるよう市政運営を執行行っていたただくことを要望しました。

上村真造・白石多津子・田村直義

童対策として施設整備支援を推進し、認可保育所や小規模保育施設の開園による待機児童数の減少、防災拠点である庁舎等建替の実施設設計、見守り機能付き防犯カメラの全数稼働開始など、高く評価を致しました。

一般会計補正予算では、地域公共交通のコロナ感染予防措置への助成、小中学校の感染症拡大防止対策、ICT環境整備として児童・生徒一人一台タブレット端末の配備などが盛り込まれ、評価致しました。

公明党は、コロナ禍の状況ですが知恵を出し合い、誰もが安心できるまちづくりを目指して参ります。

平成自由クラブ

9月定例会では、令和元年度歳入歳出決算の議案を審議しました。

歳入総額は約314億円、歳出総額約305億円となり、差し引き約9億2千万円の黒字決算でした。当初予算で見込んでいた財政調整基金を取り崩すことなく、収支の均衡を図り、実質収支では約7億1千万円の黒字決算でした。

財政健全化法による4指標も良好でした。限られた財源の重点配分を行い、時代の要請や地域の要望に応

えるべく、きめ細やかな配慮の中で、

阪急長岡天神駅周辺整備、新庁舎の事前工事、中学校給食の実施、福祉

・医療・子育て環境整備など、必要な施策の推進を図られたことを評価し、決算を認定しました。

国内外、コロナ禍、自然災害対策、危機管理対応へ実行力・決断力を期待します。

市民や各種団体・議会等からの意見や要望・指摘事項等につきましては、十分に精査・検証して見極めを行い、今年度の補正予算や来年度の予算編成へと繋げて頂きたいです。

八木 浩・富岡浩史・小野洋史

日本共産党

コロナ禍、くらしと営業に支援を！

9月議会の補正予算は、市民要望の前進もありましたが、コロナ対策については、児童生徒へのタブレットパソコン購入の前倒しなど、必要最小限だと言えます。

これまで市が実施してきたコロナ対策は、国からおりてきた交付金(約8億円)の範囲内に実質おさまっています。26億円(年度当初)の財政調整基金も生かし、PCR検査の拡

充や保育・学童保育スタッフなどへの奨励金支給、さらなる事業者支援などを行うよう求めました。しかし市長は、「奨励金支給は線引きが難しい」「事業者は切迫した状況にはない」などの答弁でした。

10月から水道料金が約5%下がりました。「市民の使っていない水に年3億円も払う」府営水道の理不尽を追及しつづけ、3回目の値下げです。市民の声が動かしています。

「同性婚の議論促進」を求める意見書が全会一致で可決されました。全国初のことです。だれもが等しく尊重される政治へがんばります。

輝(かがやき)

九月議会は、新型コロナウイルス感染症の第二波流行期のまったただ中で開催されました。本市における感染予防対策を最優先で実施するよう、医療・介護・教育・福祉の各分野のみならず、経済対策等あらゆる市民の生活場面での対応をチェックし、スピード感を持って実施するよう会派一丸となり、市に要望しました。一年に一回開催される決算審査特別委員会では、各分野の分科会・総括質疑での質疑応答の結果、この論

議を来年度予算に反映させることを期待し、決算認定に賛成しました。その主な理由は、財政健全化法に基づき四指標において、公表以来、良好な状態を維持しており、安定的な財政運営を継続していることを評価したものです。

しかしながら、市長自らが、私達会派の質問に対して、今後の最大の課題は阪急長岡天神駅周辺整備と答弁されたように、多大な財政需要が見込まれており、より柔軟な財政構造の確立を強く要望いたしました。

進藤裕之・綿谷正巳・富田達也
宮小路康文・大伴雅章

会派とは同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。ここでは9月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。

